

# 衆議院予算委員会ニュース

平成 23.2.4 第 177 回国会第 6 号

2月4日(金) 第6回の委員会が開かれました。

- 1 平成 23 年度一般会計予算  
平成 23 年度特別会計予算  
平成 23 年度政府関係機関予算
- ・片山総務大臣、前原外務大臣、野田財務大臣、高木文部科学大臣、細川厚生労働大臣、鹿野農林水産大臣、大畠国土交通大臣、松本国土大臣(防災担当)、北澤防衛大臣、枝野国土大臣(内閣官房長官)、中野国土大臣(公務員制度改革担当)、蓮舫国土大臣(行政刷新担当)、与謝野国土大臣(経済財政政策担当)、玄葉国土大臣(国家戦略担当)及び政府参考人に質疑を行いました。

(質疑者及び主な質疑内容)

## 佐田 玄一郎君(自民)

- ・ハッ場ダム事業の是非について、今後の方針を大畠国土交通大臣に伺いたい。
- ・ハッ場ダム事業に伴うJR線の付替や、移転代替地についての現状を伺いたい。
- ・裁判において、ハッ場ダムの利水効果及び治水効果を認める判決が出たが、更に事業の必要性についての検証を行う必要があるのか。

## 山本 幸三君(自民)

- ・民主党は、マニフェストにおいて、庁費や補助金などの削減により 6.1 兆円を生み出すとしているが、平成 23 年度予算において、補助金はどの程度削減されたのか。
- ・外国為替資金特別会計や財政投融资特別会計から毎年度一定程度の税外収入が可能であるとしているが、どの程度の収入を見込んでいるのか。
- ・国の施策である子ども手当の費用を地方に負担させるのは、国から地方公共団体への負担転嫁を禁じている地方財政法第 2 条第 2 項に反するのではないのか。

## 菅原 一秀君(自民)

- ・S & P による日本国債の格付引下げに対する菅内閣総理大臣及び与謝野国土大臣(経済財政政策担当)の発言、小沢元代表の今後の処遇について野田財務大臣の所見を伺いたい。
- ・平成 23 年度予算について、成長率押し上げ効果は低く、また、財政運営戦略で示されたペイアズユージー原則が守られていないと思うが、本予算に対する野田財務大臣の評価について伺いたい。

・「最近の天下り・渡りの実態に関する予備的調査」について、未回答である省庁の回答がいつまでに出てくるのか枝野内閣官房長官に伺いたい。

## 石田 祝稔君(公明)

- ・豪雪被害に遭った自治体に対して、特別交付税増額措置をする必要があると考えるが、政府はどのように対応するつもりか。
- ・既に経済協定を締結している国がある現状で、改めて TPP に入って得られるメリットは何なのか伺いたい。
- ・農業者戸別所得補償制度を予算措置で行うのではなく、法律を基にして行う必要があると考えるが、なぜ法律案を提出しないのか、その理由を伺いたい。

## 宮本 岳志君(共産)

- ・巨額の内部留保を抱え、エコカー補助金等国の支援を受けてきた大企業に対し、政府は採用人数の拡大を求めていくべきと考えるが、細川厚生労働大臣及び枝野内閣官房長官の所見を伺いたい。
- ・厚生労働省の毎月勤労統計調査によれば、所定外労働時間が前年比で大幅に増加しているが、残業代を新規雇用に回すよう指導すべきと考えるが、細川厚生労働大臣の所見を伺いたい。
- ・平成 23 年度予算において、文部科学省が要望していた小学 1、2 年生の 35 人以下学級化を、小学 1 年生のみとした理由とその縮減額について伺いたい。

## 服部 良一君(社民)

- ・普天間基地移設に関し、名護市の環境現況調査拒否に対

して、沖縄防衛局が不服申立てを行ったが、このような国の不服申立ての妥当性について伺いたい。

- ・ T P P 交渉において、郵政について米国と議論するのかどうか伺いたい。
- ・ 政府が3月に実施する予定の規制仕分けは、T P P に関する工程表を念頭においたものなのかどうか伺いたい。

### **柿 澤 未 途君(みんな)**

- ・ 元資源エネルギー庁長官が電力会社の顧問に就任した事案について、菅総理は調査する旨発言していたが、調査結果について伺いたい。
- ・ 民間企業の側から就任要請を受けるという形で、国家公務員OBが所管業界に再就職していることについて何らかの対処をする必要があるのではないか。
- ・ デフレが名目成長率改善の足かせとなっていると考えるが、物価を上昇させる金融政策が必要なのではないか。